

**グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース
国際競争力強化検討部会**

中間取りまとめ（案）概要

平成22年5月17日

座長 寺島実郎

I. 3つの基本理念

● ICTによる持続的経済成長の実現

グローバル市場の成長を取り
込んだICT産業への転換

● 日本のICT「総合力」の発揮

「課題先進国」としての国際貢献

● グローバルな「協働関係」の構築

相手国と共に課題解決を図る
人中心のシステム作り

II. 重点戦略分野

①重点推進プロジェクト

ICTグリーンプロジェクト

- スマートグリッド/スマートメータの推進
- ICTグリーン関連システムのスケールアウトの推進

「次世代社会インフラシステム」の国際展開

- パッケージでのアジア展開
- 地デジ等主要通信インフラの国際展開
- ICT利活用モデルの国際展開

デジタルネイティブ世代のパワー等を活かした新事業の創出支援

- 高度ICT人材の育成
- デジタルネイティブ世代の活用
- BOP層を対象とした国際展開

デジタルコンテンツ創富力の強化

- コンテンツの発信力の強化
- コンテンツの活用による経済活性化
- デジタルコンテンツ流通環境の整備

スマート・クラウド戦略

- 「知識情報社会」と新たな経済成長を実現
- 「利活用戦略」「技術戦略」「国際戦略」の推進

②連携推進体制

グローバル展開推進体制の確立

- ICTグローバル・コンソーシアムの構築
- 国際的なフォーラム(ISDB-Tインターナショナル・フォーラム)等の活用推進

アジア連携ネットワーク基盤の構築

- 研究開発環境・人材のグローバル化プロジェクトの推進
- アジア連携ネットワーク基盤の構築
- 「知識・言語グリッドプロジェクト」の推進

ファイナンス面での支援の充実・ODA資金の活用

- 政策金融制度の対象範囲・対象国の拡大
- ODAを活用した社会基盤整備の総合的な推進
- アジア高度人材ネットワークの形成

③技術戦略

研究開発戦略

- 「グリーン」「ライフ」「未来革新技術」分野の重点プロジェクトの推進
- 研究開発の成果展開の推進

国際標準化戦略

- 標準化活動に対する支援
- 標準化に関する重点分野

III. 更に検討を進めるべき事項

1. 3つの基本理念

● ICTによる持続的経済成長の実現・・・グローバル市場の成長を取り込んだICT産業への転換

- ICTは今後の経済成長を支える戦略的産業であり、グローバル市場の中で我が国ICT産業の国際競争力の強化を図ることが必要。
- 我が国の国際競争力は世界第21位。一方で、中国、インドその他のアジア新興国では、急速な経済成長・市場拡大が続いており、このようなグローバル市場の成長力を取り込んだICT産業の育成が急務。

● 日本のICT「総合力」の発揮・・・「課題先進国」としての国際貢献

- 我が国は少子高齢化をはじめとする様々な社会的課題について「課題先進国」であり、こうした課題は他国も共有するもの。このため、日本発の優れたプロジェクトを多数組成し、これをグローバル展開することにより、アジア各国等の課題解決に貢献することが可能。
- 新たな「課題解決モデル」をグローバル展開していくためには、これまでの企業や産業の枠を越えたオープンイノベーションを実現し、同業他社間、異業種企業間の連携により、ソリューション型プロジェクトの組成の他、企業の枠を越えた国際展開支援体制の整備、国際戦略ビジョンの共有化を図ることが必要。
- 「課題解決モデル」の組成に際しては、個々の要素技術や製品ではなく、オペレーションやマネージメントまで意識したトータルなシステムを構築し、そのグローバル展開を図っていくことが必要。
- また、政府はこうした民間部門の取組を積極的に支援し、官民一体となったグローバル展開を推進していくことが必要。

● グローバルな「協働関係」の構築・・・相手国と共に課題解決を図る人中心のシステム作り

- 日本の国際競争力を強化していくためには、単に日本の製品・サービスをグローバル展開するだけでなく、各国の実情を踏まえ、グローバルな「協働関係」に基づくシステム作りを目指すことが必要。
- その際、日本のこれまでの蓄積・強みを活かし、従来の供給サイドの視点に加え、消費者・利用者の視点を活かした「やわらかい」システム作りを重視することが必要。

II. 重点戦略分野（具体的プロジェクトの概要）

① 重点推進プロジェクト

ICTグリーンプロジェクト

- スマートグリッド等の研究開発・国際標準化等の推進
- 「環境 by ICT」のグローバル展開の推進
- ・ ベストプラクティス、CO2排出量評価手法等の海外への普及・啓発活動を推進。
- IPv6センサーネットワークシステムの国際展開
- ・ IPv6センサーネットワークシステムについて、国内外での実証実験を実施し、国際標準化を推進。

「次世代社会インフラシステム」の構築

- ICTを組み込んだ次世代インフラシステムの構築
- ・ 交通、環境、防災等のインフラ分野について、ロードマップを作成した上で、展開活動を推進。
- 最先端のICTインフラの国際展開の加速
- ・ 地上デジタル放送等の国際展開を加速化。
- 「アジアユビキタス特区(仮称)」の実現
- ・ ユビキタス関連技術に関する我が国の知見やノウハウを活かし、相手国と共同でモデル事業を実施。

デジタルネイティブ世代のパワー等を活かした新事業の創出支援

- ICT人材の育成
- ・ クラウドコンピューティング技術を活用した高度ICT人材育成環境を整備。
- デジタルネイティブの創出活動支援
- ・ デジタルネイティブの事業創出・国際展開を支援。
- BOP層を対象とした事業への支援
- ・ ベンチャー等による安価なシステム開発等を支援。

デジタルコンテンツ創富力の強化

- Jコンテンツの発信力の強化
- ・ 「コンテンツ海外展開促進コンソーシアム(仮称)」に対する支援や、「デジタルコンテンツ創造特区(仮称)」の創設等、Jコンテンツ発信力強化の仕組みを構築。
- デジタルコンテンツの海外発信による経済活性化
- ・ 海外の放送時間枠確保による、日本の優れたコンテンツの継続的な海外発信の実施。
- 「地域コンテンツ力創造事業(仮称)」の推進
- ・ 地域におけるデジタルコンテンツの製作・流通基盤を整備し、コンテンツの活用と全国規模の相互交流を通じた経済活性化を実現。
- デジタルコンテンツ流通環境の整備
- ・ 不正流通対策や権利処理の円滑化のための取組の支援等を実施。

スマート・クラウド戦略

- 利活用戦略
- ・ 行政、医療、教育、農業等の分野におけるクラウドサービスの徹底的な利活用を推進するとともに、新たなサービス創出に向けた環境整備を推進。
- 技術戦略
- ・ 次世代クラウド技術の研究開発を行うための産学官の国際連携等を推進。
- 国際戦略
- ・ 国際的なルール作りに向けたコンセンサスの醸成を加速化。

② 連携推進体制

グローバル展開推進体制の確立

- ICTグローバル・コンソーシアムの構築
- ・ 関係企業の幅広い連携により海外展開に必要なコーディネート等を行う体制を実現。
- 国際的なフォーラム等の活用推進
- ・ 地デジ日本方式採用国で構成するフォーラム等を活用し、技術、人材、文化、経済面での連携を強化。

アジア連携ネットワーク基盤の構築

- テストベッドネットワークの拡充・機能強化
- アジア諸国との研究人材交流の促進
- 「知識・言語グリッドプロジェクト」の推進
- ・ 翻訳技術・知識創成技術を融合した「知識・言語グリッド」を新たに構築。(各国への参加呼びかけ)

ファイナンス面での支援の充実・ODA資金の活用

- 政策金融制度の対象範囲・対象国の拡大
- ODAを活用した社会基盤整備の総合的な推進
- アジア高度人材育成ネットワークの形成

③ 技術戦略

研究開発戦略

- 「グリーン」「ライフ」「未来革新技术」分野の重点プロジェクトの推進
- 研究開発の成果展開の推進
- ・ 評価体制の見直しや海外との人材交流等を推進。

国際標準化戦略

重点5分野(ホームネットワーク、3Dテレビ、クラウドサービス、次世代ブラウザ、デジタルサイネージ)について、国際標準化戦略を策定。

Ⅲ. 更に検討を進めるべき事項

- 本中間とりまとめを踏まえ、各施策の達成目標、実現に向けたスケジュール、マイルストーン等を明確化した「国際競争力強化ロードマップ」について検討を進める。
- 国際標準化の推進に関し、「国際標準化戦略に関する検討チーム」において、戦略的に絞り込んだ重点分野の標準化戦略等について議論・検討を進める。